

2020年度【東和国际学院】 自己点検・評価報告書

点検・評価項目		
1 理念・教育目標		評価
1.1	当校理念：敬意、努力、誠実さを言語教育とともに	/
1.2	当校教育目標：グローバル社会で活躍できる人材を育てる	/
1.3	理念・教育目標が 社会状況と合致している	A
1.4	理念・教育目標が 教職員、学生に周知されている	A
2 学校運営		
2.1	日本語教育機関告示基準に適合している	A
2.2	運営方針と経営目標が明確化され、教職員へ周知されている	A
2.3	管理運営規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている	A
2.4	意思決定が組織的に行われ、効率的に機能している	A
2.5	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である	A
2.6	外部からの情報収集を行い、共有化している	A
2.7	学生、入学希望者経費支弁者へ、理解できる言語で情報提供をしている	A
2.8	学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している	A
2.9	業務の見直しや運営の検討が定期的かつ組織的に行われている	B
3 教育活動の計画		
3.1	理念・教育目標に合致したコース設定をしている	A
3.2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している	A
3.3	国際的に認知されている熟達度のシステムを参照しレベル設定している	A
3.4	教育目標に合致した教材を選定している	A
3.5	補助教材等、著作権法に留意している	A
3.6	教育内容、教育方法が教員間で共通理解がある	A
3.7	教員の能力経験等から、適切な教員配置をしている	A
4 教育活動の実施		

4.1	授業開始前に試験等で判定の上、適切なクラス編成を行っている	A
4.2	教員に対して、担当クラスの学習目的、編成試験結果、学習歴、その他必要な情報を伝達している	A
4.3	開示されたシラバスによって授業を行っている	A
4.4	授業記録及び出席簿に正確に記録している	A
4.5	理解度・到達度確認を適切に行っている	A
4.6	学生の自己評価を把握している	A
4.7	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている	A
5 成績判定と授業評価		
5.1	判定基準と判定方法が明確に定められ、適切に行われている	A
5.2	成績判定結果を明確に学生に伝えている	A
5.3	判定基準及び方法の妥当性を定期的に検証している	B
5.4	授業評価を定期的実施している	B
5.5	評価体制、評価方法及び評価基準が適切である	A
5.6	学生による授業評価を定期的実施している	A
5.7	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取り組みに反映されている	A
6 教育活動を担う教職員		
6.1	校長、主任教員、専任教員、非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている	A
6.2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力、資質を明示している	A
6.3	教職員の採用方法及び雇用条件を明文化している	A
6.4	教職員のための研修等、能力強化のための取り組みをしている	B
6.5	教育機関として、倫理観、社会規範、ハラスメント防止等に関する研修をしている	B
6.6	教職員の評価を適切に行っている	A
7 教育成果		
7.1	入学から卒業までの学習成績記録を適正に管理している	A
7.2	修了・卒業判定を適切に行っている	A
7.3	日本語能力試験日本留学試験等の外部試験結果を把握している	A
7.4	卒業生、修了生の進路を把握している	A
7.5	卒業生修了生の状況を把握し、進学先就職先での状況や社会的評価も把握している	A

8 学生支援		
8.1	学生支援計画の策定、支援体制を整備している	A
8.2	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任、権限を明確に定めている	A
8.3	日本社会を理解し、適応するための取り組みをしている	A
8.4	入学直後に日本留学生活に関するオリエンテーションを実施し、在校生に対しても定期的に実施している	A
8.5	住居支援を行っている	A
8.6	アルバイトに関する指導、支援を行っている	A
8.7	健康、衛生面について指導する体制がある	A
8.8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入している	A
8.9	重篤な疾病や傷害があった場合の対応、感染症発生時の措置を定めている	A
8.10	交通事故等の相談体制を整備している	A
8.11	危機管理体制を整備している	A
8.12	火災・地震・台風等の災害時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している	A
8.13	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している	A
9 進路に関する支援		
9.1	進路指導担当者を特定している	A
9.2	学生の希望する進路を把握している	A
9.3	進学就職等の進路に関する最新情報の資料があり、学生が閲覧できる状態にある	A
10 入国・在留に関する指導及び支援		
10.1	入管事務担当者を特定し、その職務内容、責任、権限を明確に定めている	A
10.2	担当者は研修等による最新の情報取得を継続的に行っている	A
10.3	申請等取次者を配置している	A
10.4	入管法上の留意点を学生に定期的に指導、伝達している	A
10.5	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している	A
10.6	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている	A
10.7	不法滞在者、資格外活動違反者、そのほか犯罪関与者を発生させない取り組みをしている	A
10.8	過去3年間、不法滞在者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させていない	B

11教育環境		
11.1	教室内は語学教育を行うのに十分な照度、遮音性があり、換気がされている	A
11.2	授業時間外に自習できる部屋を確保している	A
11.3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備されている	B
11.4	視聴覚教材やITを利用した授業の設備や機器がある	B
11.5	教職員の執務に必要なスペースを確保している	A
11.6	学生数に応じた数のトイレを設置している	A
11.7	法令上必要な設備を整えている	A
11.8	バリアフリー対策を行っている	C
12入学者の募集と選考		
12.1	理念、教育目標に合う学生募集計画を策定している	A
12.2	入学希望者に対して、教職員が情報提供、入学相談を行っている	A
12.3	最新で正確な学校情報、応募資格、条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている	A
12.4	募集代理人代理店に最新の学校情報提供を行い、その募集活動内容を的確に把握している	A
12.5	入学の選考基準、方法が明確化され、入学選考を行っている	A
12.6	学生情報を正確に把握し、提出された立証資料等による確認を行っている	A
12.7	入学希望者の学習能力、志望理由、日本語能力を確認している	A
12.8	入学希望者に、納付金、学費以外に入学後必要となる費用が明示されている	A
12.9	関係諸法令に基づく学費返還規定が定められている	A
13財務		
13.1	財務状況は中長期的に安定している	A
13.2	予算・収支計画の有効性妥当性が保たれている	A
13.3	適正な会計監査がなされている	A
14法令順守		
14.1	法令遵守に関する担当者を特定している	A
14.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための研修等を行っている	B
14.3	個人情報保護のための対策をしている	A
14.4	出入国管理局、関係官公庁等への届け出、報告を遅滞なく行っている	A

15地域貢献・社会貢献		
15.1	日本語教育機関の資源、設備を利用し社会貢献地域貢献を行っている	B
15.2	学生ボランティア活動の支援を行っている	B
15.3	地域への講座等を提供している	B
15CEFR到達度		
16.1	卒業者CEFRレベルの試験合格者数7割以上	A
16.2	公表はHP、SNS	A
16.3	基準該当者割合 92.3%	A

評価方法	
A	達成されている項目
B	一部未達成項目
C	未達成項目

評価者	
評価代表者	東和ソリューションエンジニアリング株式会社代表取締役
他評価者	東和IT専門学校 校長
他評価者	東和新日本語学校 校長

※2020年度においては新型コロナウイルスの影響下にて研修や外部機関との連携が行えなかった項目に関しては一部未達成評価と判定した。

2021年4月1日

